

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義・実習・演習
科 目 名	滋慶選択科目<ビオトープ概論>	必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		学期及び曜時限	前期 木曜3限	教室名	402教室
担 当 教 員	宮本 好彦	実務経験と その関連資格			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 滋慶選択科目講座は、滋慶学園グループ各校が提供する教育システムの一つである。姉妹校が開講する様々な科目を選択・履修することで、学びの機会を広げ、知識・技術の習得、豊かな人間性の醸成、社会人になった更に活用することが可能となる。本講座は、ビオトープの初歩的な概念を学び、身のまわりの自然環境やその維持管理に興味を持ってもらうことを目的とする。					
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 出席(20%)、平常点(10%)、試験点(70%)					
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> プリントを配布する					
<b>《授業外における学習方法》</b> 身のまわりの自然に興味を持ち、学びえたことを反芻すること					
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 外部見学も行います。様々なことに興味を持ってください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式 授業を通じての到達目標	滋慶選択科目の主旨及び各講座内容について理解できる。		必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	滋慶選択科目の履修方法、各講座の概要について			
第2回	講義形式 授業を通じての到達目標	滋慶選択科目の主旨及び各講座内容について理解できる。		必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	履修及び科目毎の諸注意			
第3回	講義形式 授業を通じての到達目標	ビオトープ概論で学ぶべき内容、方向性、注意事項について学習する。		必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	ガイダンスー科学としての考え方、「地球環境問題」の概要と深刻さ 国連地球サミット、持続可能性、地球上のいのちの歴史			
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生態学の基礎として、生物の相互作用について理解し説明できる①		必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	生態学(1)ーヒトを含めた生物たちの生存の相互関係 フードチェーンー太陽エネルギーの利用と移動形態			
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	生態学の基礎として、生物の相互作用について理解し説明できる②		必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	生態学(2)ー生きものたちと生存環境との相互関係 遷移・攪乱・適応、生物多様性の意味			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 生態学の基礎として、生物の相互作用について理解し説明できる③	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	生態学(3)ー生きものたちと生存環境との相互関係 進化・共生・生物分布・個体群の保全・レッドデータブック		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 ビオトープについて一般的な概念を理解し説明できる	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	ビオトープ論ービオトープとはなにか 環境・種・遺伝子の多様性、エッジ効果とビオトープネットワーク		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 関連法規について学習する	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	環境関連法一法とはなにか 環境基本法、外来生物法、河川法、国際条約、他		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 ビオトープの考え方に沿った計画立案の理論について学習する①	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	ビオトープ計画(1)ー理論(調査・分析・評価・目標の設定・計画) 都市計画、農村計画、河川、道路、民家		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 ビオトープの考え方に沿った計画立案の理論について学習する②	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	ビオトープ計画(2)ー実例 コウノリの野生化と町おこし、ビオトープネットワーク計画		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 ビオトープの考え方に沿った施工について学習する①	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	ビオトープ施工(1)ー「土木、造園」設計・施工・管理 野生生物の生活史を理解、多孔質で多様な材料を選定		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 ビオトープの考え方に沿った施工について学習する②	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	ビオトープ施工(2)ー施工・維持管理・モニタリング・改良 実例ー公園、河川、砂防ダム、建築物		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 ビオトープについて、今まで学んだ知識を確認できる	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	総合演習、学んだ知識の確認		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 滋慶選択科目の分析・評価を行い、学んだ内容を再確認できる	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	アンケート処理・演習内容の再確認		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 後期滋慶選択科目の準備	必要に応じてプリント配布	プリント内容の復習
	各コマにおける授業予定	前期講座の振り返りを経て、後期受講科目に関して評価・判断・準備を行う。		